社說

今日の道德論者

世の蔑に奥いもの身知らずと云ふ自身は入込みの湯屋に裸體の醜を演じながら往來の人が脚を露はしたりとて之を笑ふが如き自身知らずの鐵面皮を敢したるものならん冷酷自から妙なりとして初今の世間の實際に於て誰れが適する者と尋れば彼の道德を云々する一種の教育家流ふを其人なる可し近時此流の人々は我國武力の發揚と共に精神心力の薄弱を感じたるものか頻りに道德の必要を唱へ若しも今日にして爲すとなくんば人民の德心地を紊ふて空しからんとすと急言切論するもの少からず今日の世態、果して此の如くに差迫りたるものなるや否やは自から別問題として道德の教育改良果して必要なりとせば眞先に其必要を感ずる者は他人には非ずして德育論者その人なる可し何となれば民間凡俗の不道德は多くは心術よりの不道德に非ずして其實は生來身に文思なきが爲め道德の新形體を知らざるの罪なれども特に道德を喋々する道德家教育家に至りては知て而して其罪を犯すもの少からざれば其次第を語らん論者の熱心如何配する所の道德は多くは義勇武烈とか愛國誠忠とか云ふ公德に外ならずと雖も抑も公德なるものは私德の發達したる後に非ずんば見るべからざるものにして其理由は一個人は直ちに社會を組織する者に非ず先づ家族を組織して而して後に社會を爲すものなれば家族朋友間の私德の修りたる上に非ずんば社會を名くる漠然無形の者に對する公德の修るべき筈なきが如なり是れは必ずしも新奇なる理論に非ず既に孔子の言にも身修りて家齊ひ、家齊ふて天下平なりと云ひし程なれば私德より公德に及ぼすは三千年來儒教の中心教理たりし筈なり然るに今日の論者が先づ父母兄弟妻子朋友等目見る可く手觸る可き眼前有形の者に對する手近き私德をば等閑に附し去り漠然として形なく想像力の高度に達したる後に非ずんば觀念す可らざる愛國忠勇等の公德を先にせんとするは事の本末を顚倒したるものゝ如し本末の顚倒猶可なりとするも公德を守ればそれ德は省みるに足らずと爲すが如き擧動に至りては我輩の決して看過するに能はざる所なり試みに彼の言論喋々たる德論家の家庭を觀察せよ一夫兩妻に二妻を聘したる者はなきか市井實笑の婦人を購ふて正妻と爲したる者はなきか或は正妻側室一家に群を成したる例は其上に時に或は花柳の街に出入して家を外にする輕薄男子はなきか或は其婦人は正銘の實笑婦ならざるも兎に角に黃金以て人身を購ひ得たる者は少なからざる可し又或は社會の上流に女子教育の事なせ夫れは是れと心配する婦人もあるよしなれども驅に其婦人の由來を尋ねれば實て自から女德を賣りし者なりとの奇談なきに非ず折角の心配も信するに足らざるなり凡そ人倫の中、男女の關係の如きは社會の綱紀の因て立つ所の基にして最も重要なるものゝ一なるに自から之を破りて省みず恬然として他の道德を云々するは恰も破戒無慚の僧侶が魚肉を食ふたる後に口實めすりして殺生戒を說くが如し斯る說法を信せざるは不信者の罪に非ずして說法者の罪なり曾に之を信ぜざるのみならず却て世人をして道德論を輕蔑せしむるの風を助くに足る可し例へば愛に戒を破て廻み妻を賣ふて糟糠を棄てより下しながら自から子を教へんとして孝道の說を爲すが如き是れ實に其子は嚴父の訓釋に毫も信を置かず却て反動して根本より道德を疑ふに至る可し左れば人間修德の入門とも云ふ可き內行を修めずして遽に公德を教へんとするものは其說の聽かれざるのみならず却て天下の道德心を破壞する者と云はざる可らず是れ我輩が今日の所謂の道德論者に感服する能はざる所以なり勿論、欠陷多き人間社會の事なれば人々皆な圓滿の君子たる能はざる事多かるべけれども我輩は必ずしも論者の內行を擧げて之を窮追せんと欲するに非ず又窮追したりとて効あるものに非ざれば必ず之を苦しめんと欲する者に非ず唯內行修まらず人間道德の初步たる家庭の倫常すら守る能はざる淺德男女は一切口を噤して道德教育を云々せざらんことを勸告するに止めんのみ

◎內務の新方針、町村分離の許可

曩に市町村制の實施に際して新自治團體を組織してより部內の離も出顯者の意惡果して如何なるべきや又其獻地買入費は如何なる方法を以て之を醵出すべきや一概に論じ難しと雖も場所に依りては總經費を三分し舊藩主其一分を、地方の富豪家其一分を負擔し殘り一分を一般より醵出するの方法を取る地方もありと云ふ

◎米國兵、キューバの反徒を赴援せんとす

米國紐育ウオールド新聞の所報を見るにニウアーク分營に屬する兵卒中にはキューバ嶋の反徒を扶け其獨立を全ふせしめん爲め赴援せんみとを承諾したる者ある由にて其數に至ては精しく知るを得ざれども既に反徒の代理人と契約を結びたるものの少なくとも十二人あり此外希望者次第に增加する勢にて聞く所に據れば或る一隊の兵卒は紐育に到り近々キューバへ向け出發する筈なり其報酬は一箇月二十二弗乃至百弗なりと云ふ然かのみならず米國陸軍の將校中にも反徒に同情を表し竊に此事に力を盡し志願の者を詮索する人もありとなり

◎支那の海軍新設と請負の競爭

支那政府は海軍を新設するの議を決し軍艦兵器を海外へ注文せんとする由を聞き之を引受けんと歐米造船會社の代理人は各々軍艦の雛形を差出し或は設計の方案を示し競爭甚だ盛なりと北京天津タイムスに見ゆ

◎李鴻章の電報

李鴻章が露國筆の後ち本國政府へ向け發したる電報の數は隨分多くして唯その動靜を報ずるのみに止まらず敢て新の如く屬々打電するにも及ばざる可し然かのみならず是等は皆總冠式執行前のものなるを以て見れば譯は無れての本意を洩らすに時機を失はず彼の支那第一流政治家の來りしを幸ひに何か得る所あらんと樣々に迫る所ありし爲め李は其度毎に本國へ電報を發し其旨を問ひたるに非ざるか疑ふ可しと云ふ

◎清帝、運御の途次銃擊に驚く

先月下旬の頃清帝は外巡して運御せんとせしに突然物は魯行する數發の銃聲を聞き驚駭して運御へとなり園の中を運轉をしに安穩無事に聞する之其響聲さしかりしかば侍衛の人々は大に驚き早速八方に手を分け註察したるに銃を所持するもの見當らざりしと是れは蓋し擊せんとしたるものに非ず多分運御の事を知り遊獵に發射せしならんと云ふ

◎朴泳孝氏

神戸に滯在する朴泳孝氏は京都商業學校の語學教師安泳沖氏を伴ひ再び來きたるが暫時同地の保養院に滯在するよし

◎實業教育費補助

實業教育費國庫補助に富山縣上新川郡堀川村立堀川農業補習學校は可し本月より向ふ五箇年間一箇年金二百五十圓する旨去る三日文部省より指令せりと云ふ

夜汽車の犯罪

第四十二回　柳月庵さしら譯

哮り狂へる檻の獣

老女は穴藏の內なる室を二つ三つ、一々鍵もて閉ぢ終りて、全國を通ずれば其數非常に多かりし時の經過と共に仲折合宜しきを失して自治機關の運轉滑らざるもの外に假令ひ一部人民の熱心なりしとて、其間の注意を周到にし萬已むを得ざるもの外は